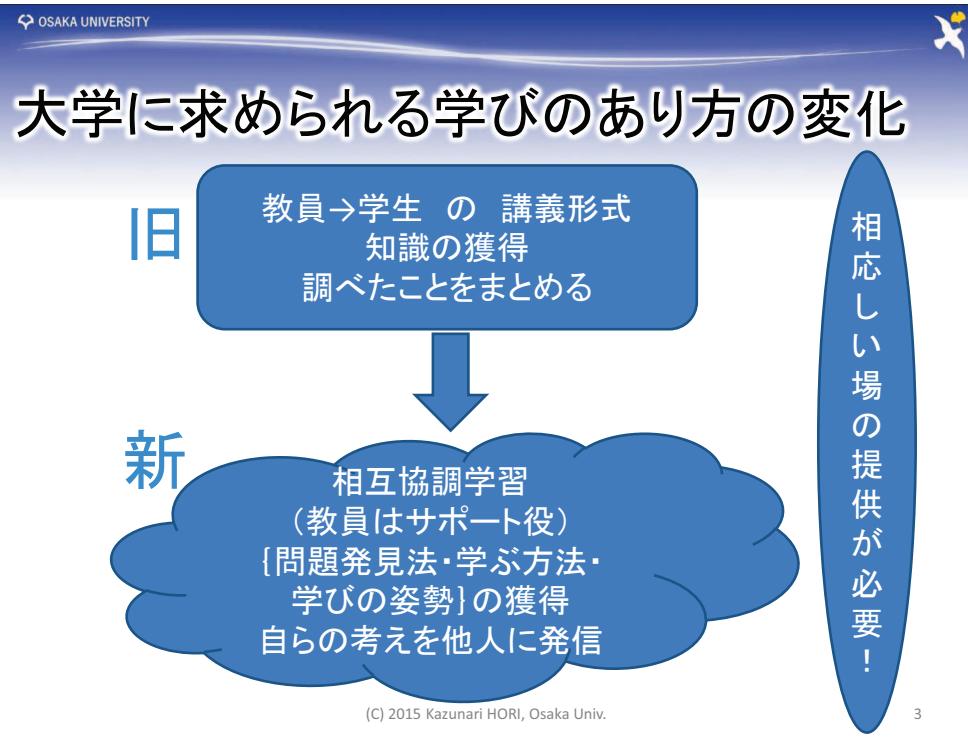


教職員とTAが協働で取り組む学習支援 －大阪大学コモンズスペース事例紹介－

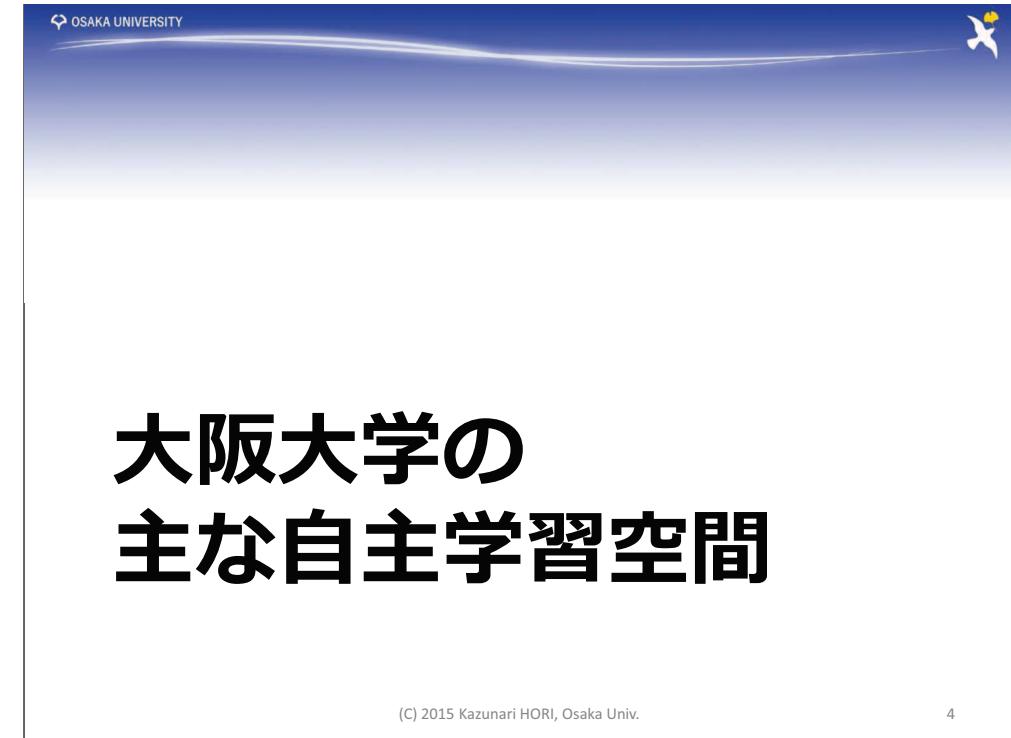


本日の内容

- 近年の大学における学びのありかた
- では大阪大学ではどうしているか?
 - ◎ 主な自主学習空間の紹介(ハード)
 - ◎ 学習空間利用の事例紹介(ソフト)
- 学習支援にうまく貢献していくには
→協働がうまくいくために

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

2





4つの図書館に5つのコモンズ

- **総合図書館(豊中)**

- ラーニング・コモンズ [2009年6月]
グローバル・コモンズ [2012年11月]

- **理工学図書館(吹田)**

- ラーニング・コモンズ [2009年4月]

- **生命科学図書館(吹田)**

- ラーニング・コモンズ [2014年4月]

- **外国学図書館(箕面)**

- ラーニング・コモンズ るくす [2012年4月]

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

5



豊中 総合図書館コモンズスペース その1 ラーニング・コモンズの概要

- B棟2階に設置(2014年12月拡張)
- 4ゾーンに分かれ多様な利用を図る
- 固定PC 18台、貸出PC 25台
- 大・小のホワイトボードを使って
自由にディス
カッション
- 飲み物可
(自販機有)



(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

7



大阪大学豊中キャンパスの 自主学習のインフラとしての空間

- 附属図書館の閲覧室など

- ラーニング・コモンズ

- グローバル・コモンズ(附属図書館)

- ステューデント・コモンズ、ガイダンス室
カフェ カルチエ(全学教育推進機構)

- PC教室開放

- (サイバーメディアセンター)

吹田・箕面キャンパスでも学習支援施設を拡充している

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

6



豊中 総合図書館コモンズスペース その2 グローバル・コモンズの概要

- 2012年11月新設
- C棟2階に設置
- 試験期には、
24時間開室
- 國際ニュース
閲覧システム
- 電子黒板
- 飲み物可



(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

8



大阪大学 全学教育推進機構 ステューデント・コモンズの概要

- 総合図書館から歩いて2、3分
- 教育研究棟I の1階と2階
- 1階部分
カフェQuartier、開放型セミナー室
学生活動プロジェクトルーム
- 2階部分
マッチング型セミナー室、
セミナー室(1)・(2)、ITヘルプデスク

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

9

ステューデント・コモンズ



← 建物外観

↓マッチング型
セミナー室

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

10



カフェ カルチエ (Quartier)

- コーヒー・パン・ケーキ・サラダ・パスタ・アイスクリーム等を販売
- 自由に話したり、勉強会をしたり
- 時々自主イベントも
- 販売担当は 大学生協
- 運営管理は 全教機構



(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

11



ガイダンス室(全教機構A棟2階)

- 教員が順番に待機して、学習上の助言、相談及び情報提供を行う。
- 大学院生のラーニングアドバイザーも待機し 勉強相談にのる。
- 多言語カフェ(6か国語)の開催も。



(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

12

ガイダンス室でのアカデミックサポート

- 毎曜日午後
大学院生が待機
- 学習に関する
質問受け付け
- ライティング指導
をする場合もある
- 数学と物理の
サポートを重視



(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

13

サイバーメディアセンター 情報教室自由利用

- 平日21時30分まで開館
授業開講期間のみ
- 講義の行われていない教室は、学生が自由
に利用してよい
- プリンターが使える
(利用者負担)



(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

14

教室以外の学びの場 役割分担

- 図書館閲覧室・サイレントゾーン
サイバーメディアセンター PC教室
(自分ひとりで学習、話禁止)
- 図書館コモンズスペース
(みんなで議論、飲み物可)
- 全教機構ステューデント・コモンズ・ガイダンス室
(教員指導下で、議論・プレゼン型 授業、
自主イベントもあり)
- 全教機構カフェ カルチエ
(勉強あり・無駄話あり、食事も)

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

15

附属図書館 自主学習空間の 利用事例

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

16

図書館コモンズ開催イベント

- 初年次向け(共通教育科目のレポートが対象)
「レポートの書き方講座」 担当教員 堀
 90分講習3回セット(**職員・TAも講師役担当**)
- 高学年次向け(卒論作成を視野に)
「論文の書き方・文献の読み方 プチゼミナール」
 90分講習4回セット(**図書館職員も講師役担当**)
- 図書館TAによる論文検索等講習会
- 図書館職員による「プレゼン入門」講習会
- いずれも自由参加(履修単位とは無関係)

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

17

初年次学生が作ったパスファインダー

1. 著作権とは

著作権についてのことは、実は意外に身近な重要なことです。左側の本棚には、著者名や出版社、年次などから本を検索する機能があります。右側の本棚では、各本の詳細情報を確認することができます。

2. 関連単語

著作権 / 特許権 / 商標権 / うに利用権 / 著作者の権利 / 著作権法 / 版権法 / 版権権 / 版権などの権利について。著作権法によって保護されています。

3. 参考書

書名	著者名	出版年	出版社	購入記号	所蔵場所
図書館のための参考書	堀 崇	2015年	東京 国際図書社	0012/HAT-191a/9c	図書室
図書館のための参考書	堀 崇	2015年	東京 国際図書社	0012/HAT-191a/9c	図書室
図書館のための参考書	堀 崇	2015年	東京 国際図書社	0012/HAT-191a/9c	図書室
図書館のための参考書	堀 崇	2015年	東京 国際図書社	0012/HAT-191a/9c	図書室

- Study-Aid ワニの本棚 をごらんください
「Study-Aid 大阪大学」 で検索してください

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

19

堀担当 基礎セミナー 「図書館パスファインダーをつくろう」

- 初年次学生が初年次学生のための
パスファインダーをつくる(単位を出す15回授業)
- 図書館活用法演習とWeb制作実習を
 兼ねている
- 総合図書館ラーニング・コモンズ**を教室として利用
- できたパスファインダーは
 大阪大学の学習支援サイトで公開
- 高校生が参加し、高校生のための
 パスファインダーも作成(これまで3名)

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

18

協働イベントから 職員独自アイデアのイベント開催へ

- 「プレゼン入門 話す基本技術」**
 パラグラフを基本に話す
 声の出し方
 間の取り方
 司会の技術など
- 久保山職員独自発案**
- 教員がサポート



(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

20



図書館TA

- ・附属図書館ラーニング・コモンズに常駐
- ・主に自分の専門に即した学習相談に応じる
- ・自ら企画した情報検索法、
堀が主として企画する
ライティング講習会の
教師役なども担当
- ・単なるアルバイトでなく
TAとして雇用



(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

21



大阪大学におけるクラス化TA制度

育成する能力・目的		業務内容	対象身分
スチューデント・アシスタント (SA 新設)		教育に関連する単純作業を担当する(出欠、資料印刷など)	学部学生・大学院生
ジュニア・ティーチング・アシスタント (JTA 既存+名称変更)	経済的支援	教員の指導のもと、教育補佐業務を行う	大学院生・学部学生のうち5年生以上の特に認めた者
シニア・ティーチング・アシスタント (STA 新設)	教育指導能力	教員の指導のもと、補助的な教育業務の内容を自ら計画して支援することを、主たる業務内容とする	大学院生(博士後期課程(博士課程)のうち特に認めた者)
ティーチング・フェロー (TF 将来的に導入を検討)	教育企画能力 教育展開能力	教員の指導のもと、教員に準じる教育業務を行う(ただし、最終結果についての責任は除外)	ポスドク・大学院生(博士相当)など

時給

SA→ 950円、 JTA→ 博士前期1,200円・博士後期1,300円
STA→ 1,600円、 TF→ 1,800円(27年度試行)

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

23



図書館TAのための研修

- ・カウンター来客への応対を考える
- ・どこまで教えるか？気を付ける点は？
- ・テキストは、佐渡島紗織・太田裕子編
「文章チュータリングの理念と実践」ひつじ書房
- ・オリジナルの相談メモ・
記録用紙の
アイデア出しも



(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

22



大阪大学TAハンドブック

- ・TAの職務上の注意や心掛けを解説
TAの役割
TAが担当する業務の範囲
TAとして常に心がけておくこと
TAの体験談 (JTA、STA別)
- ・最新バージョンは平成26年2月版
- ・大阪大学リポジトリOUKAで公開
<http://hdl.handle.net/11094/26838>

(C) 2015 Kazunari Hori, Osaka Univ.

24



TA担当者の養成

- 現時点では、組織的なTA養成はしていない
 - ◎各教員研究室所属者に声掛け
 - ◎担当科目受講者に声掛け
- 26年度2期より堀担当 大学院科目
「学術的文章の作法とその指導」
ライティング科目TA担当可能者養成の意図
- 大学教員志望者のための科目(広義のTA養成)
「大学教員になりたい」STA、STA志望者も多数受講
「大学教員という仕事」 学部1年生対象
- TAバンク? を設立したい

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

25

図書館が
学習支援に
うまく貢献していくには

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

26



図書館の危機

- 電子ジャーナル・Webリポジトリ
⇒ 教員・院生が図書館に来ない
重要な施設と思わなくなる
- eラーニング・スマホ教科書
⇒ 学生が図書館に来ない
冊子体の本を利用しない
- コモンズが図書館外へ**(同志社・関西・関学)
- 将来も
高等教育と学術研究活動を支える
重要な学術情報基盤たりうるのか?

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

27

協働を模索しましょう

- 教員、職員、個別の努力では限界が
⇒「でも教員が非協力的、、、」
先に図書館が事例を作って、
教員を巻き込みましょう！
- さらに学生も巻き込んで、
協働しましょう！

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

28



協働 図書館職員側のメリット

- 職員の活動と教育活動が近くなる
→意識や課題の共有ができる
- 職員が教育活動に関わる
→大学図書館の空間やICT機器、
書籍等の効果的な活用ができる
#以上は、阪大図書館久保山氏の
報告論文から
- 関連書籍の貸出増加などの需要を生み出した
#信州大学の報告論文から
図書館リポジトリを見てください！

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

29



協働 TA担当大学院生のメリット

- 教えることの貴重な体験が得られる
⇒プレFD
(大学教員になるための準備活動)
将来教員を目指す自分にとって
とてもよい練習の場になった(阪大TA)
- 教えることで自らの技能が向上する
⇒自分の論文が良くなったとの感想
(早稲田ライティング指導TAなど)

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

30



協働 教員側のメリット

- ルーチンワークが減る?
自らの新しい研究テーマに繋がる
新規予算確保に繋がる
教育評価の対象になる
- 職員と教員と学生が
Win-Winに！
- 互いにとって利になるように
イベント・仕事を持つて行きましょう

(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

31



一般の学生の力もかりて運営する きくみみくん コモンズヒアリング

- 図書館運営の要望を
学生に聞く
- コモンズ施設計画に
学生が関与



(C) 2015 Kazunari HORI, Osaka Univ.

32